

履修条件（アドミッション・ポリシー）

1. 電気電子工学に関する十分な基礎学力を有する人
2. 専門分野の高度な知識の修得，ならびに自立して研究に励む意欲を持つ人
3. 自主性と協調性を備え，高度な専門知識を活かして積極的に社会に貢献しようと志す人

修了認定の基準（ディプロマ・ポリシー）

電気電子システム工学専攻では，修士研究と授業を通して以下の能力を身につけ，所定の単位を修得して修士論文審査に合格した場合に修了を認定して，修士の学位を授与します。

1. 電気電子システム工学に関して，高度な専門知識を幅広く修得すると共に，特定の専門分野を深く十分に身につけること。【高度な専門知識の修得】
2. 電気電子システム工学に関する，設計，製作，研究などの諸過程を自立して実施できる課題発見能力，問題解決能力，計画立案実施能力を身につけていること。【自立した研究者・技術者となる能力の修得】
3. 電気電子システム工学に関して，他の技術者，研究者と十分に議論できる能力を身につけると共に，電気電子工学を専門としない人にもわかりやすく説明することができるプレゼンテーション能力を身につけていること。【協調性・説明能力の修得】

到達目標に達するためのカリキュラム方針（カリキュラム・ポリシー）

博士前期課程は，修士論文研究をカリキュラムの中核と位置づけ，研究を通して特定の専門分野を身につけます。修士論文研究を通して，研究に耐えうる深い専門知識を身につけると共に，一人でいう課題発見能力，問題解決能力，計画立案実施能力を修得します。

加えて，高度な専門分野を幅広く修得するために，1年次，2年次を通して専門科目を選択して履修します。専門科目の履修に当たっては，修士論文研究に関連する科目のみならず，幅広い科目を修得することで研究のみでは得られない専門知識を修得します。

必修科目として1年次には「創成工学プロジェクト」，1，2年次を通して「電気電子システム工学特別研修」および「電気電子システム工学特別実験」を履修します。創成工学プロジェクトでは，グループによるプロジェクトを通して，協調性および説明能力を身につけると共に，グループ作業としての課題発見能力，問題解決能力，計画立案実施能力を修得します。電気電子システム工学特別研修では，複数の研究室が合同で研究発表会を行うことで，自分の研究を専門としない人にわかりやすく説明することができるプレゼンテーション能力を修得します。電気電子システム工学特別実験では，修士論文研究に必要な高度な実験能力を修得します。

電気電子システム工学専攻カリキュラムツリー

